

日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 枕草子 一時代と作品一 (編集/赤間恵都子・山本淳子)

2020年9月
第15号
目次

巻頭エッセイに代えて

新しいかたちの歴史と文学の出会いの中に

三田村雅子 …… 2

『枕草子』の本文の論理 —— 宮仕えする「身」の諸相 ——

山中悠希 …… 5

『枕草子』成立論の問題点 —— 摺筆年時と第一皇子 ——

津島知明 …… 22

『枕草子』の漢をめぐる

中島和歌子 …… 36

『枕草子』における道隆 —— 『枕草子』描写の特徴に関連して ——

高橋由記 …… 50

『枕草子』と『小右記』の中宮大夫藤原道長

—— 第一二四段「関白殿、黒戸より」をきっかけに ——

山本淳子 …… 61

「淑景舎、春宮にまゐりたまふほどの事」考

東 望歩 …… 74

「成信の中將は」章段における対比の構成

—— 和歌の表現と雨の言説を視点にして ——

古瀬雅義 …… 87

『枕草子』職御曹司章段と王朝文化

赤間恵都子 …… 102

連載

日々は探索く古筆切・写本・たまに版本く 第一四回
『和漢朗詠集』正保五年版・尊円親王本

—— 古筆の摸刻資料その三 ——

久保木秀夫 …… 116